

研究の成果

○効果的なカリキュラムデザインの開発

全教員でマネジメントすべき内容を共有し、カリキュラムデザインや授業実践の基盤とするとともに、「地域・環境」に関する教育課題を重点とした単元配列の見直しを行った。各教科等で育成すべき資質・能力を捉え、教科等横断的な視点をもって同時期に行うと効果的である単元を見極めて配列することができた。

児童は、「地域への貢献やよりよい環境の創造」に向けて、意識が高まった。(図1)

また、カリキュラムを意識して日々の授業に取り組んでいる教員の割合が増えたのは、全教職員が自分ごととしてカリキュラム・マネジメントを進めた成果である。(図2)

さらに、保護者・地域へのアンケートを実施し、「地域・環境」に関する資質・能力を育成するために必要な人材を見出し、データベースとして活用しやすい環境を整えた。

○教育活動の質を高めるための授業デザインの開発

組織的かつ計画的に教育活動の質を高めるための「授業デザイン」を学習方略の習得から探究的な学習の質の向上への一連の学習段階として捉えて授業形態を考察し、全学年・学級で実践を重ねることができた。

「授業に主体的に取り組んでいる」(図3)、「授業がよくわかる」(図4)と肯定的に回答した児童の割合が増えた。

今後の取組

現代的な諸課題「キャリア」、「国際理解」、「福祉・健康」のカリキュラムデザインを進め、教科等の関係性を深めることで教育効果を高めていく。

教科等横断的、系統的で関連性のある学びへの意識が教員と児童との差が大きい。児童の意識を高めるための手立てを共有し、実践に繋げる。

探究活動等で地域人材をさらに活用できるよう、データベースの充実を図る。

図1 地域や社会をよくするために何をすべきかを自分なりに考えている

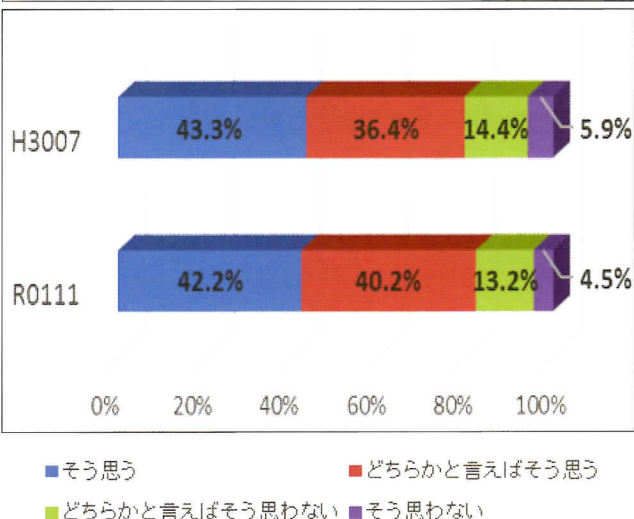


図2 カリキュラムを意識して授業に取り組めた

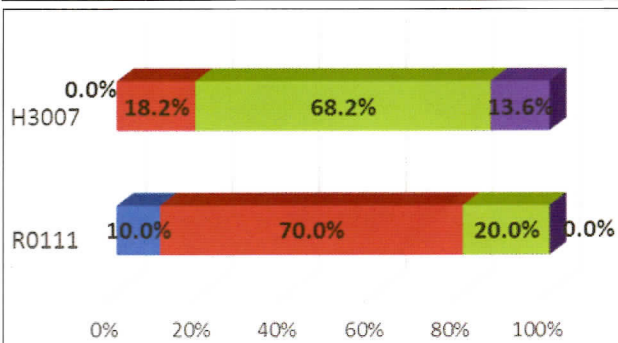


図3 授業に主体的に取り組んでいる

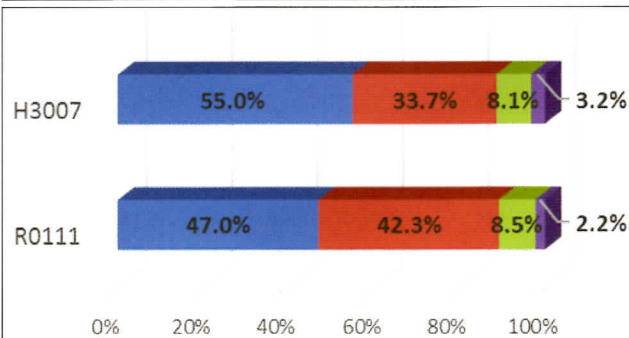


図4 授業がよくわかる

